

介護虐待を起こさないための基礎研修

5月22日 9:30~16:30

昨今、テレビや新聞等で高齢者に対する介護従事者による（目を覆いたくなるような）虐待と思われる事案が報道されています。一生懸命心を込めて利用者へのケアをされているほとんどの介護職にとっては、とても辛くて悲しい（時には腹立たしい）思いをされているのではないのでしょうか？そして、一部の事業所の行いにより、介護業界全体が同じように捉えられてしまうことは、あってはならない事です。

しかし、どんなに優秀なスタッフを揃えていても、介護の現場は1対1の場面が多いため虐待が起りやすい環境であることは否めません。更に、慢性的な人員不足、認知症高齢者への理解不足など（理解をしていたとしても）、対人援助が基本となる介護の現場では大なり小なり職員がストレスを抱えるのは普通のことです。

そして、職員本人が気付かないうちに不適切なケアをしてしまっていることもあるのかも知れません。そのストレス等から不適切なケア、更には虐待にまで発展させないために、介護職本人においてはストレスとうまく付き合うこと（回避など）が重要です。また、介護従事者個人のみ任せではなく、組織として職員がどんな状況になっているのかを把握し、その状況に応じてメンタルヘルスの視点を持って組織的に取り組むことが求められています。

不幸にも、虐待が発生してしまった場合においても、的確かつ迅速な対応が出来なければ、利用者及び家族等との信頼関係が崩れるとともに、ケアスタッフのチームワークも崩壊してしまい、事業所の存続もできなくなるのではないのでしょうか？

事業所においては、不適切なケアや虐待に至らないように、虐待について振り返る機会は常に必要です。本研修においては、事業所での虐待防止のための視点と考え方、組織的な取り組み、発生した場合の適切な対処方法を学びます。虐待の芽を小さいうちに摘みとり、高齢者が笑顔で過ごせる環境をつくるために、是非点検の機会として本研修にご参加いただければ幸いです。

カリキュラム

項目	内容
① 虐待の基礎知識	①虐待とは ②背景 ③種類と程度
② 認知症と虐待	①認知症の理解と虐待防止の取り組み
③ 虐待発生時の対応	①利用者 ②家族 ③職員 ④行政
④ 虐待を未然に防ぐには	①虐待の芽を摘むための視点 ②メンタルヘルスとストレスチェック
⑤ 組織的な取り組み	①組織体制の整備 ②具体的な取り組み
⑥ 高齢者の笑顔のために	①まとめ

講師紹介 田島利子先生 介護福祉士・介護支援専門員 グループホームあんずの家施設長

日本でもモデル的なグループホームの礎をつくったグループホーム管理者。現場の業務に精通したスペシャリストで、介護現場の実情を踏まえた実践的な講義が好評。25年以上の大変豊富な知識と経験を兼ね備えた専門家。虐待の発生した事業所での研修やコンサルテーション等を行っている。

受講料 11,000円

受講対象 全ての介護従事者

研修会場 お茶の水ケアサービス学院 東京都千代田区岩本町1-10-3

申込方法 下記FAXおよび電話にて受け付け

お問合せ TEL 03-3863-4000 FAX 03-3863-4006

申込書【03-3863-4006】

ネット配信加入者は半額で受講可

氏名		職種	
住所	〒 - (事業所・自宅)		
事業所			
TEL		ネット配信 加入の有無	有・無
FAX			
e-mail			

お申込後(申込日を1日目とします)、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかりますのでご注意ください。尚、申込日に拘らず5/8より全額のキャンセル料が発生します。キャンセルの連絡がない場合はキャンセル扱いとなりませんので、お気を付け下さい。

【受講者の声】 ●改めて虐待とは何か、なぜ虐待が起こるのか理解できた ●認知症への理解不足が虐待につながるとよく分かった ●個人の自覚だけでなく組織的な取り組みが不可欠と感じた ●自分も無自覚にやっていると恐ろしくなった ●虐待を防ぐには普段のケアから見直さないといけないと感じた 他多数